

授業科目名 科目コード	韓国語 I A (Korean I) 111013-14000					担当教員	権 五景 (グォン オーギョン)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択必修	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
<p>日本語の語順とほぼ同じであり、文法も酷似している隣国朝鮮半島の言葉（韓国語）と文字（ハングル）を学ぶ。韓国語は世界の言語の中で最も日本語と似ており、短期間で最も上達できる言語である。韓国語と日本語が似ていることは前期ではそれほど体感することはできないが、後期になるとたくさん体感できる。ところで、「外国語一つぐらいできなきゃ」の時代に生きている。その外国語を韓国語にし、積極的に挑戦してほしい。前期は主に文字の読み書きができるようになり、後期は簡単な会話ができるようになる。また、授業内容は基礎的なものである。「ハングル」能力検定試験5級に対応している。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
大きな声で発声し、反復学習を行う。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
なし									
⑤ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安									
(i) 文字の読み書きができる (ii) 動詞や形容詞の変化ができる (iii) 簡単な日常会話ができる									
⑥ テキスト（教科書）									
李志暎（2010）『できる韓国語 初級 I（新装版）』アスク									
⑦ 参考図書・指定図書									

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 文字の読み書きができること	子音と母音の組み立てを十分理解し、ハングルを見てすらすら読むことができる	子音と母音の組み立てを十分理解し、正確に読むことができる	子音と母音の組み立てを理解し、少々間違えながら読むことができる	配布資料を見ながら読むことができる	配布資料を見ても読むことができない
(ii) 動詞や形容詞の変化	規則変化、不規則変化が正確にできる	規則変化、不規則変化がかなり正確にできる	規則変化が正確にできる	規則変化に少々の間違ひはあるが、意味は通じる	配布資料を見ても変化ができない
(iii) 簡単な日常会話ができること	教室内で使われる日常会話ができる	教室内で使われる日常会話が発音上の問題はあるが、意味は十分通じる	教室内で使われる日常会話が見ながら成り立つ	教室内で使われる日常会話が見ながら成り立つ	教員の助力があっても会話が成り立たない

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%	10%			20%		100%
(i) 文字の読み書きができること	20%	10%	5%			10%		45%
(ii) 動詞や形容詞の変化	20%	10%	5%			5%		40%
(iii) 簡単な日常会話ができること	10%					5%		15%
フィードバックの方法	添削して返却する。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
授業時間中には大声で発音をしてほしい。

⑪ 授業計画と学習課題	
回数	授業の内容
	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）

1	講義ガイダンスとハングルについて	ハングル創製の原理としての天地人と陰陽の考え方	30分
2	文字を組み立てる—名前を書く	母音と子音の暗記	60分
3	文字を組み立てる—住所を書く	母音と子音の暗記	60分
4	文字を読む—俳句や川柳を読む	母音と子音の暗記	60分
5	文字を読む—俳句や川柳を読む	母音と子音の暗記	60分
6	文字を読む—J-pop を読む	母音と子音の暗記	60分
7	バッチムの基本—国名、都市名、人名を読む	母音と子音の暗記	60分
8	連音	パターンの暗記	60分
9	会話入門フレーズ (I)	大声で練習する。	90分
10	会話入門フレーズ (II)	大声で練習する。	90分
11	バッチムを読む—K-pop を読む (I)	大声で練習する。	60分
12	バッチムを読む—K-pop を読む (II)	大声で練習する。	60分
13	—です・ます体 (입니다, 습니다)	パターンの暗記	60分
14	—です・ます体 (입니다, 습니다の不規則変化)	パターンの暗記	60分
15	—です・ます体 (입니다, 습니다) の練習	パターンの暗記	60分
16	前期内容の総復習	前期の内容を大声で読む。	60分
17	—です・ます体 (예요, 이에요, 아니예요)	パターンの暗記	60分
18	—です・ます体 (-아요, 어요, 해요 : バッチムなし)	パターンの暗記	60分
19	—です・ます体 (-아요, 어요, 해요 : バッチムあり)	パターンの暗記	60分

20	一です・ます体 (-아요, 어요, 해요の不規則変化)	パターンの暗記	60分
21	否定文と助詞	パターンの暗記	60分
22	数詞 (音読)	1 - 100までを大声で読む。	60分
23	数詞 (固有語)	1 - 100までを大声で読む。	60分
24	疑問詞	大声で読む。	60分
25	過去形	大声で読む。	60分
26	敬語	大声で読む。	60分
27	逆説と確認	大声で読む。	60分
28	希望	大声で読む。	60分
29	バッチムを読む—改めて K-pop を読む	大声で読む。	60分
30	後期総復習	教科書の練習問題を大声で読む。	60分

⑫ アクティブラーニングについて
読み書き能力の確認のため、簡単な小テストを行う。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性